

児童発達支援評価表 集計(事業所向け)

R3.12

配布 5 名 回答 5 名

事業所名：ひだまり水沢横町

	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1 利用定員とスペースの関係	5		活動内容等によって、部屋を分けて過ごしている。
	2 職員の配置数	5		基準を満たしている。マンツーマンでの対応となっている。
	3 構造化、バリアフリー化、情報伝達の配慮	5		段差もなく、安全に過ごせる環境だと思う。
	4 生活空間、活動に合わせた空間	5		毎日、掃除機掛け・消毒剤での水拭きを行い清潔感を保つようになっている。活動の内容に応じて、部屋別に過ごしやすい空間作りに努めている。
業務改善	5 PDCAサイクルへの職員の参画	5		
	6 アンケート調査の業務改善への取組	5		今回が初めてのアンケート調査実施である。
	7 評価の公開	5		今回のアンケート結果も公表予定である。
	8 外部評価の業務改善へのつながり	5		外部評価を行っていると思うが、コロナ禍で実施していないと思われる。
	9 研修の機会の確保	5		ZOOM開催の研修に参加している。コロナ禍で外部研修が出来ずにいるが、収束したら研修に参加し、資質の向上に努めたい。
適切な支援の提供	10 適切なアセスメントによるサービス計画の作成	5		本人の様子や、保護者との会話からニーズをくみ取っている。
	11 アセスメントツールの使用	5		
	12 ガイドラインの項目の選択と具体的な支援内容	5		
	13 支援計画に沿った支援	5		利用時には毎回、個別支援計画に沿った支援を提供している。
	14 チームでの活動計画立案	5		職員で話し合っている。
	15 活動計画の工夫	5		様々な支援ツールを使って支援を行っている。
	16 個別活動と集団活動を組み合わせた支援計画	5		
	17 支援内容の打ち合わせ	5		毎日の朝会にてその日の活動内容の説明、支援するにあたっての注意事項を伝えている。
	18 支援内容の振り返り	5		翌日の朝礼で振り返りを行い、職員で共有している。
	19 記録の徹底	5		特記事項を含め、連絡帳を必ず記入している。
関係機関や保護者	20 定期的なモニタリング	5		
	21 サービス担当者会議への参画	5		児発管や主任が参加している。
	22 母子保健・子育て支援等との連携	4	1	コロナ禍で十分に実施していないと思われる。
	23 (医ケアや重心を支援している場合)保険、医療、障害福祉等との連携	5		対象者がいない。
	24 (医ケアや重心を支援している場合)主治医や医療機関等との連絡体制	4	1	対象者がいない。
	25 保育所等との情報共有、移行支援	5		
26 小学校、特別支援学校との情報共有、移行支援	5			

児童発達支援評価表 集計(事業所向け)

R3.12 配布 5 名 回答 5 名

事業所名：ひだまり水沢横町

	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
との連携	27 専門機関との連携、助言・研修	4	1	相談員さんを通じて連携を図っている。
	28 保育所や幼稚園等との交流、障害のない子との活動	2	3	コロナ禍ということもあり難しい。
	29 協議会等への参加	2	3	
	30 状況・課題について保護者さんとの共通理解	5		お迎えの際に、利用時の様子を細かく伝えている。
	31 ペアレント・トレーニング等の支援	4	1	お迎えの際に助言をする時はあるが、伝え方が難しいと感じる時がある。コロナ禍で実施していないと思われる。
保護者等への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等の丁寧な説明	5		利用契約時に説明を行っている。
	33 ガイドブック、支援計画をホシながら説明、保護者からの同意	5		
	34 助言と支援	5	1	コロナ禍で面談は実施していないと思われる。
	35 保護者会等の活動や保護者同士の連携への支援	2	3	コロナ禍で実施していないと思われる。
	36 苦情についての対応	4	1	日頃から話しやすい雰囲気や関係性作りを心掛けている。
	37 情報の発信	5		毎月おたよりを発行し、事業所内の情報を発信している。
	38 個人情報	5		
	39 意思の疎通・配慮	5		保護者さんへは、口頭・連絡帳・電話など伝わりやすい方法を選択してお伝えしている。
	40 地域に開かれた事業運営	2	3	コロナ禍で実施していないと思われる。
非常時等の対応	41 職員・保護者へのマニュアル周知と訓練	5		
	42 避難訓練	5		定期的(年4回)に実施している。
	43 服薬、予防接種等の確認	5		基礎疾患については、契約時や毎年のプロフィール更新の際に確認している。服薬内容やてんかん発作の状態については、都度保護者さんと情報共有を行っている。
	44 食物アレルギーの対応	5		
	45 ひやり・はっと	5		毎月の職員会議で、検討会を行っている。
	46 虐待防止の研修	5		
	47 身体拘束	5		現在、対象者はいない。

児童発達支援評価表 集計(事業所向け)

R3.12

配布 7名 回答 7名

事業所名: ひだまり水沢☆きらり

	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1 利用定員とスペースの関係	7		7人(定員)を預かった時、また、体調不良で別活動をしたときに狭く感じる。パーテーションで区切ったり、和室を使用したりして工夫している。
	2 職員の配置数	6	1	基準は満たしているが、配置がギリギリなので、体調不良等で職員が休みになると不足を感じる。児童指導員が1人の為延長支援が取れない。土曜日も営業するようになり、平日6~7人を職員4名で支援を行う場合がある。
	3 構造化、バリアフリー化、情報伝達の配慮	7		バリアフリーである為問題はない。玄関に車いす用のスロープを用意している。トイレが寒い。
	4 生活空間、活動に合わせた空間	7		毎朝の清掃、帰る前の消毒を行っている。利用者が好きな場所へ行きいろいろ選べる環境になっている。午睡する場合に、カーテンを引き、明るさを調節している。
業務改善	5 PDCAサイクルへの職員の参画	7		朝礼、職員会議、気付いた時に話し合い、確認している。
	6 アンケート調査の業務改善への取組	7		常に保護者様から話ができるような雰囲気を作っている。評価表で保護者様の意向を確認し、業務改善に努めている。
	7 評価の公開	7		アンケート実施後集計をし、法人の広報やホームページで公開している。
	8 外部評価の業務改善へのつながり	7		監査を受け特に指摘はないが、改善すべきところは改善している。
	9 研修の機会の確保	7		忙しくなり、全員で研修に参加することは難しくなってきたが、参加した職員からの伝達を行っている。内部研修、ZOOMやYou Tube等での外部研修を行っている。
適切な支援の提供	10 適切なアセスメントによるサービス計画の作成	7		保護者様との話は大事にしている。保護者のニーズを確認し、個別支援計画に活かしている。
	11 アセスメントツールの使用	7		共通のアセスメントツールを使用している。今後新しいアセスメントツールを導入する予定(リタリコ)
	12 ガイドラインの項目の選択と具体的な支援内容	7		支援内容がどの項目に当てはまるか、保護者様にも分かるように項目も記載するようにした。職員会議にて、読み合わせをし、理解を深めつつ支援している。
	13 支援計画に沿った支援	7		一人ひとりの支援目標が分かるよう、一覧表を作成し、常に確認できるよう掲示している。
	14 チームでの活動計画立案	7		担当者が立案し、その後職員間で話し合いをしている。
	15 活動計画の工夫	7		月ごとに担当を決め、イベント等も取り入れながら工夫をしている。静と動の活動をバランスを見ながら考えている。
	16 個別活動と集団活動を組み合わせた支援計画	7		身体的にも知的にも色々な利用者がある為、常に話し合って決めている。
	17 支援内容の打ち合わせ	6	1	毎朝朝会にて確認している。支援の内容は確認できているが、役割分担を決めた方が良いと思う。
	18 支援内容の振り返り	7		その日の終わり、または翌日振り返りを行っている。内容によっては職員会議で情報共有している。
	19 記録の徹底	7		連絡帳、業務日誌等で記録を取っている。
20 定期的なモニタリング	7		定期的にモニタリングを行い、見直しをしている。	
関係機関や保護者	21 サービス担当者会議への参画	7		児発管が参画。
	22 母子保健・子育て支援等との連携	7		市の担当者や、子育て支援センターの職員から情報を提供して頂き、支援につなげている。また、必要な時には連携会議を開いている。
	23 (医ケアや重心を支援している場合)保険、医療、障害福祉等との連携	7		必要時に必ず連絡を取り合っている。
	24 (医ケアや重心を支援している場合)主治医や医療機関等との連絡体制	7		利用開始時に保護者様経由ではあるが、看護指示書、スコア表を記入して頂き、必要時には連絡を取れる体制である。
	25 保育所等との情報共有、移行支援	7		相談員を介して、保育園と併用利用児は必ず連絡を取り合っている。
	26 小学校、特別支援学校との情報共有、移行支援	7		送迎時に情報共有している。互いの連絡帳を確認できる体制を取っている。

児童発達支援評価表 集計(事業所向け)

R3.12

配布 7名 回答 7名

事業所名: ひだまり水沢☆きらり

	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
との連携	27 専門機関との連携、助言・研修	7		子育て支援センターと連携している。
	28 保育所や幼稚園等との交流、障害のない子との活動	3	4	コロナ禍ということもあり、機会が設けられない。
	29 協議会等への参加	7		所長が自立支援協議会医ケア児等支援部会の部会長として参加している。
	30 状況・課題について保護者さんとの共通理解	7		日々の連絡帳や送迎時に積極的に話し合いを持っている。
	31 ペアレント・トレーニング等の支援	5	2	ペアトレはしていないが、個別の相談に対して真摯に対応している。
保護者等への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等の丁寧な説明	7		契約時に説明している。
	33 ガイドブック、支援計画をホシながら説明、保護者からの同意	7		個別支援計画を作成した時に保護者様へ説明をし、同意を得ている。
	34 助言と支援	7		モニタリング時やその他、事業所に来た時に都度対応し、助言や支援を行っている。
	35 保護者会等の活動や保護者同士の連携への支援	6	1	可能な限り行事の時に事業所に来て頂くよう声掛けはしているが、コロナ禍である為、自粛している。
	36 苦情についての対応	7		職員全員に周知し、保護者様の立場に立って考えている。延長支援等について職員体制を整えて対応している。
	37 情報の発信	7		毎月事業所だよりを発行し、定期的に法人の広報を発行している。
	38 個人情報	7		常に注意を払うよう心掛けている。
	39 意思の疎通・配慮	7		利用者へは理解できていると思って分かりやすい言葉で話しかけている。タイマーや支援ツール等も使用している。保護者へも分かりやすい言葉を使用し、否定的な言葉を使わずに伝えていく。コロナ禍でありできていない。1周年時に利用者と職員全員で近所に挨拶に行った。
	40 地域に開かれた事業運営	2	5	
非常時等の対応	41 職員・保護者へのマニュアル周知と訓練	7		法人のマニュアルがあり、職員会議等で読み合わせを行っている。また、玄関にファイルを用意し、いつでも見られるようにしている。
	42 避難訓練	7		年4回避難訓練を行い記録を取っている。
	43 服薬、予防接種等の確認	7		母子手帳をコピーさせて頂いたり、与薬依頼書、お薬手帳を確認させて頂いている。
	44 食物アレルギーの対応	7		医師ではなく、保護者様に教えて頂いている。
	45 ひやり・はっと	7		報告書を作成し、職員間で話し合いを持ち、共有している。
	46 虐待防止の研修	7		法人で委員会がある。マニュアルの読み合わせ等を行っている。
	47 身体拘束	7		身体拘束を行う対象児はいない。車イスに関しては拘束に当たらないことを確認している。必要になった場合は職員間で話し合いを持ち保護者様へ説明を行う。